

# 地域運動部活動推進研究事業 成果報告書



令和3年度 睦沢町教育委員会

## 1 事業の概要

地域の実情を踏まえ、地域人材の確保や費用負担の在り方、運営団体の確保などの課題に総合的に取り組むために、拠点校において実践研究を実施する。

休日の部活動を地域へ移行するため、総合型地域スポーツクラブとの連携を図り、生徒にとって望ましい持続可能な部活動と学校の働き方改革の実現に向けて、休日の部活動の段階的な地域移行を実施し、研究成果を普及することで、休日の地域部活動や合理的で効率的な部活動を展開していく。

## 2 構成

主体	大項目	小項目	事項
睦沢町	基礎情報	自治体概要	人口：6,903 (R3.4.1現在)、面積：35.59 km <sup>2</sup>
		教育	学校数：小中共に1校ずつ、生徒数：小学校301人、中学校142人
	スポーツ環境	概要	特徴的なスポーツ環境：睦沢ふれあいスポーツクラブ（総合型スポーツクラブ）
		指導者	指導者の確保状況：地位運動部活動における指導者は確保済み卓球1名、バレーボール部1名
		スポーツ施設	種別施設数：9
			部活動による活用状況：卓球部とテニス部が利用
		地域スポーツクラブ	競技別の地域スポーツクラブの数：13 部活動との連携状況：卓球部とは連携済み来年度バレーボールとも連携予定テニス部はコートのみ利用
	拠点校	基礎情報	対象中学校の基礎情報
部活動の基礎情報			部活動数：7、部員数：下記参照、顧問：各部2名、活動頻度：週5日活動、部費の負担：保護者なし
			ソフトテニス：28名、卓球：38名、剣道：4名、バスケ：16名、サッカー：1名、吹奏楽：15名、芸術：19名 計121名

### 3 地域移行に向けて

将来像	【地域移行に係る計画の有無】 有
	【目指す姿・ゴール】 休日部活動の完全地域移行
直面している課題	【課題の種類】 教員の理解、地域運動部活動の参加人数の低迷
	【具体的内容】 徐々に理解は深まってはいるが、まだまだ部活は学校で行うものだと考える教員がいる。生徒への地域運動部活動への理解が不十分であり、参加人数が低迷している。
今後の方向性	<b>【課題に対する工夫・ポイント】</b> 学校施設で地域運動部活動を行っていき、地域運動部活動を教員に示す。 生徒向けの説明会を行っていき地域運動部活動の理解を深めていく。

### 4 実践研究内容

実践課題	<b>【取り組んでいる実践課題】</b> 教員と地域が連携することへの理解
	<b>【課題に取り組むに至った背景・理由】</b> 前から町独自で地域移行を進めていたが教員や保護者の理解が全て得られなかった。
運営体制	<b>【運営団体の属性（事業内容）】</b> 「誰もがいつでも、気軽にスポーツに参加できる環境づくり」を目指し、睦沢町を担う子ども達の育成、世代を超えた交流を通じて、老後まで健康で豊かな生活ができる町づくりを担う団体として活動している。
	<b>【運営団体の確保方法】</b> 町との体育業務事業にて長年の付き合いがあったため
指導体制	<b>【指導者の基礎情報】</b> 種目：卓球、競技歴：50年、指導歴15年、資格：指導は特になし、謝金：1時間1,600円
	<b>【確保方法】</b> 長年卓球クラブの活動の一環として学生に指導していたため
活動場所	主な活動場所：総合運動公園剣道場
	活動場所の確保方法：長年卓球クラブがそこで活動していた経緯があったため

## 5 実践研究の成果

成果	<b>【実践研究の結果得られた成果】</b> 教員が地域と連携することの理解が深まった 教員と指導者の指導方法の共有 <b>【実践研究の結果判明した課題】</b> 地域運動部活動に参加する生徒が少ないため参加者を増やす 休日の地域移行については可能であるが、平日については派遣 できる指導者がおらず、現状では厳しい
今後の方向 性	課題に対して今後取り組むべき内容・工夫・ポイント 保護者だけでなく生徒向けの地域運動部活動の説明会を行い、 参加者を増やす。将来的には学校施設で地域運動部活動を行う

## 6 関係団体と円滑に地域移行を推進できる体制の構築について

地方自治体と関係が深くかつ歴史が長い総合型スポーツクラブと連携をすることが望ましい。

長年様々な事業を実施した経験や学校の子供達達の状況や地域の状況を深く理解されている団体だと地域移行にむけての話がスムーズに進む。

また、スポーツクラブと学校との距離が近いと活動場所の地域移行しやすい。

## 7 拠点校の取組みや関係団体の協働を効果的な促進について

拠点校の教員には、競技経験のない教員が顧問をしていることもあるので、わかりやすく丁寧に伝える。あまり無理な要求はせずに教員ができる範囲を考慮して助言していく。また全て急に地域移行するのではなく、活動時間や活動場所を徐々に地域移行していく。地域移行に徐々に移行していく中で勝利至上主義ではないが小さな大会でも生徒が良い成績を収めると教員も前向きに検討していただける傾向にある。

## 8 様々な課題の対処について

関係団体や保護者に対して一つひとつ丁寧に説明していく。

保護者等はなかなか集まることは難しいところではあるので文書等を発出していく。

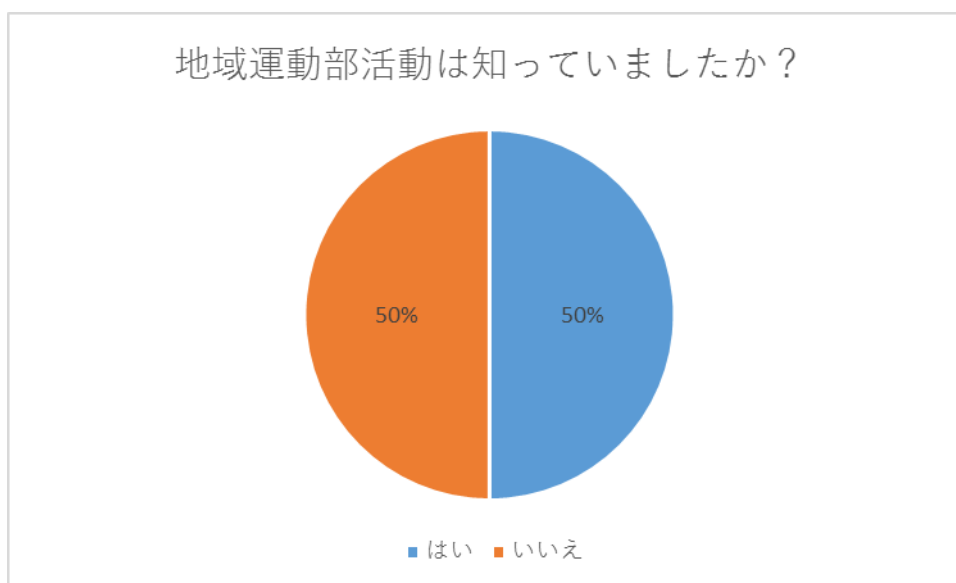
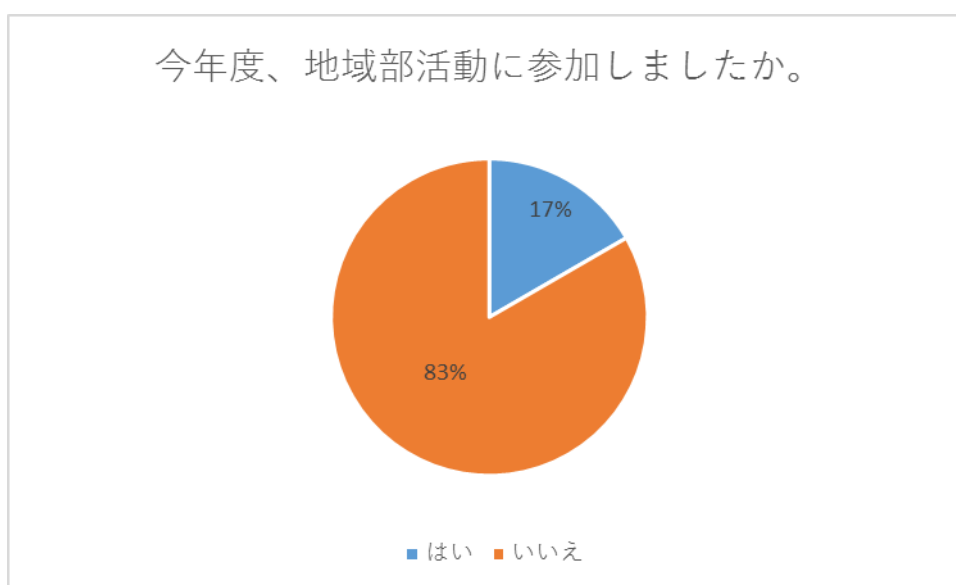
また、大人だけでなく競技を行う生徒にも説明をしていく。

アンケートを実施し、保護者や生徒の声をよく聞き解消に向けて実施していく。

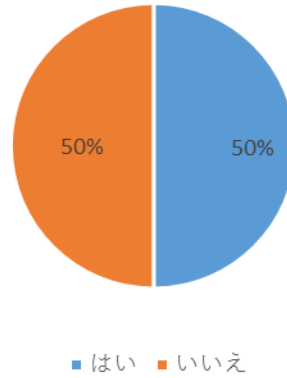
9 他地域への普及について

本町は1校しかないので町としてはこれ以上広げることができないが、本町と同等の規模やの市町村や地域に総合型地域スポーツクラブが存在する市町村に対して、積極的に情報発信をしていきたい。

10 生徒アンケートより（実施時期：令和4年1月、対象生徒：卓球部38名）



今回の説明を受けて、地域運動部活動への興味や地域運動部活動の様子を見学してみたいと思いましたが。



○参加したことによって変化はありましたか？

また、参加して良かった点・悪かった点、今後に向けて要望やその他意見があれば下記の欄に記入をお願いします。

- おかげさまで卓球というスポーツの楽しさを知ることができました。地域運動部活動の練習が力になっていることを実感している。
- ベテランの卓球経験者がたくさんいるので、上手になると思います。
- 卓球が上手になりたいと思い、友達が参加しているので参加しています。指導してくれる人たちもちゃんと指導してくださり良いと思っています。本人も時間が許す限り参加させてもらっています。
- 以前より卓球に興味を持つようになり、色々な技術を学べたので上達した。
- 学校の部活動では教えてもらえないような技術を教えてもらえたので試合で勝てるようになったので、とてもよかった。